

2021 年度 情報システム等の脆弱性情報の取扱いに関する研究会 第 1 回会合 開催結果概要

- 日時: 2021 年 12 月 6 日(月)15:00 ~ 17:00
- 場所: オンライン開催(Teams)
- 出席者(敬称略):
 - 座長:土居
 - 委員:歌代、垣内、北澤、栗田、柴崎、鈴木、高木、高橋、谷川、中尾、中野、山崎、渡辺
 - オブザーバ:METI 奥田課長、手塚補佐;SAJ 戸島;JPCERT/CC 椎木、洞田、高橋、石川、阿部
 - 事務局:IPA 富田理事長、戸高理事、瓜生センター長、桑名、渡辺、寺田、土屋、板橋、関澤、井上、唐亀
 - MRI 村野、江連、津國、小川、平林
- 決定事項:
 - ・ 本年度の研究会の活動方針について委員より承認を得た。
- 主な論点:

1. 2020 年度情報システム等の脆弱性情報の取扱いに関する調査報告書概要について

事務局から、資料 1-3 に基づき 2020 年度情報システム等の脆弱性情報の取扱いに関する調査報告書概要について説明を行った。

2. 今年度の検討方針について

事務局から、資料 1-4 に基づき 2021 年度検討方針について説明を行った。

3. 普及啓発の促進に関する調査について

事務局から、資料 1-5 に基づき普及啓発の促進に関する調査について説明の後、委員から以下の意見を頂いた。

- ・ 製品利用者関係の団体に対して、普及啓発を行った結果どのように活用しているのかという視点は今回の資料に含まれているか。

4. ウェブサイト運営者の窓口設置に関する調査について

事務局から、資料 1-6 に基づきウェブサイト運営者の窓口設置に関する調査について説明の後、土居座長、委員から以下の意見を頂いた。

- ・ 窓口設置について、告示といった位置づけがない認識だが、準則等で記載があると効果的である。
- ・ Software ISAC の PSIRT ワーキンググループでの活動から、窓口設置済みあるいは窓口設置に係る悩み等の情報提供が可能である。

5. パートナーシップガイドラインの取扱いに関する検討

JPCERT/CC 洞田様から、資料 1-7 に基づきパートナーシップガイドラインの取扱いに関する検討について説明の後、土居座長、委員から以下の意見を頂いた。

- ・ 課題 1 について、取り扱い規定の脆弱性関連情報の定義では、具体的なプログラムまたはデータの使用方法まで入っているため、カバーできるのではないか。
- ・ 課題 3 について、周知が目的という形で作られたと思うが、CVE が付与されると情報発信につながると考えられる。課題 2 については、根底にある理由を付随できれば 45 日の意味が伝わるのではないか。
- ・ 課題 3 について、全顧客通知されたものもすべて CVE を振ってしまったらどうか。
- ・ 課題 3 について、ガイドラインの記述で本来の趣旨と実態の把握が必要である。課題 2 について、45 という数字は目標値である。課題 1 について、問題を明確にし、製品開発者が攻撃発生的事实を書いてほしくない事案がどれだけあるか、理由や JVN 掲載で困っていること等、準備してもらいたい。

6. スケジュールについて

事務局から、資料 1-8 に基づきスケジュールについて説明を行った。

以上